

港区立高陵中学校

令和 4 年度 授業改善推進プラン

1 本校における課題

国語	- 話し手の目的に応じて内容を捉えることや、内容を明確にするために話し手の工夫を捉えることへの項目が、他項目と比べ低い。話す・聞く等に課題がある。 「思考力」に課題がある。話し手の目的に応じて考えながら、話の内容を吟味する力が弱い。
社会	- 社会科に対する関心意欲は高いが、学力差が大きいことが課題。基本的知識の定着に時間を要する生徒も見られる。 - 社会科に対する関心意欲は高いが、学力差が大きいことが課題。一問一答形式や選択形式は正答率が高いが、資料の考察から説明を要する問いには苦手意識を感じる生徒や、読解力不足により、問題の意図が正確に読み取れない生徒も見られる。
数学	- 図形領域における正答率が、他の領域に比べて 10 % 程低い。 - 記述式の問題の正答率が、選択式や短答式に比べて大幅に低い。
理科	- 金属の質量変化を考察する問題の正答率が低く、実験・観察などの結果から規則性や関係性を見出す力に課題がみられた。 - 基本的な実験・観察技能の習得ができていない生徒がみられた。 - 無脊椎動物の分類について正答率が低く、基本的な知識の習得に課題がみられた。
外国語	- リスニングに自信がない生徒がいる。 - 長文を読み、問題を理解し、正確に解答する力が不足している。 - 条件作文において、文法や正しい語彙を使って書く力が不足している。 - 事前に用意したことは発話できるが、その場で考えた内容を話す力が弱い。

2 各教科の具体的な授業改善

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	- 話し手の内容を理解する能力 - 内容を考え、吟味する能力	- 各単元の授業において、他者と意見を交流し、意見の主旨や優れた点を踏まえて自己の学習を深化させる指導をしていく。 - 話し手の目的をワークシート等で明らし、それに対する自身の考え、思考を調整する学習を行う。また、吟味した内容の発表等を行わせる。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
社会	- 思考、判断、表現 - 読解力	- 日頃から資料に目を慣れさせ、「なぜ～なのか」という問いの形を意識しながら、資料を読み取る力を養う。 - 発表、パフォーマンス課題等から課題に正対する読解力、表現力を養っていく。

数 学	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・思考・表現・判断	・問題に対して数学的に活用する力を育成するために、問題に対して、個人で考える時間設けて、その後に集団で検討をさせ、最後に全体で共有をし、様々な視点で問題を解決するようにする。 ・答えを書くだけでなく、考え方を言葉で表現できるように、記述式の問題をワークシートに取り入れていく。

理 科	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・思考・表現・判断 ・基本的な実験・観察技能	・実際の実験データと理論値の間に生じる誤差の理由を考えたり、未知の値をデータやグラフから推測する力を養う。 ・実験を行う機会を多く設けるとともに、パフォーマンステストを実施し、全員が基本的な操作を習得できるように進める。

音 楽	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	表現したいイメージをもち、お互いに言葉で伝えあいながら曲を演奏する力。 様々な曲について説明や思考を伴い、聴くことができる力。	・各指導事項において必ず、「なぜ」という問いを投げかけ、表現活動の教え込みにならないようにする。 ・タブレット等の活用で様々な音楽に触れるようにし、領域の偏りを防ぎ、多くの音楽体験の機会を取り入れる。

美 術	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	課題を通して、「知識・技能」を習得し、「思考力・判断力・表現力」を身につけ、心豊かな生活を創造していく姿勢を育む。	各課題の前後に、アイデアスケッチと計画、コメントや振り返りを設け、作品についてより詳しく考察させる。また、タブレット等を用い、多様な芸術作品や文化的な建築物等を鑑賞する機会を増やすことで、美術文化や生活との関わりについて考え、自身に生かそうとする姿勢を育む。

保 健 体 育	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・言語、非言語によるコミュニケーション力 ・動作イメージ力 ・体力の向上	・ペア学習やグループ学習を取り入れ、個人やグループの課題を解決する授業を展開する。 ・ICT 機器を活用し、動きを客観的に捉えられるようにする。 ・準備運動後の補強運動やゲーム等で運動量を確保する。

技	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
---	-------------	----------------------

	・プログラミング作成における論理的思考力の育成。 ・実技における創作意欲の向上	・論理的思考力の育成では、何度でも間違えられるようにし、生徒間で相談しあえるようにする。 ・実技においては生徒が失敗しないように各製作工程において点検を実施する。
--	--	--

外国語 (英語・国 際)	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・聞くこと、話すこと、読むこと、書くことの4技能を高めることを目指す。	・語彙力、文法力を強化するため、単元ごとに単元テストを行う。 ・長文理解力を高めるため、中、長文を読む機会を設ける。 ・既習の語彙を活用し、作文力の充実を図る。 ・国際の授業で、リスニングやスピーキングの機会を増やし、その場で考えて話す活動を充実させる。

道徳	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	- 自主的に考え行動する態度を養い、自律性の育成を目指す。 - 誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場を尊重し、助け合う心の育成を目指す。	・多様な体験活動を効果的に関連させ、生かしていく工夫 ・心に響く資料の選択及び活用、資料提示の工夫 ・「特別の教科 道徳の教科書」活用の工夫

特別活動	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	多様な他者と共同する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付ける。	・生徒自ら計画し、行動することを促してリーダー育成を目指して行事の実行委員等を活用する。 ・生徒会活動において、生徒が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、話し合い活動を充実させる。 ・「高陵コミュニケーションスキル」を共有化した指導を行う。

総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	国際理解、キャリア教育を通して、学びに向かう力、人間性等の育成を目指す。	・国際理解については、ゲストティーチャーを招き、日本文化を体験する機会を設ける。大使館と連携し、他国との交流の機会を設ける。 ・キャリア教育については、地域と連携して職業講話を聴く機会を設ける。